

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	理工学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.3 教育方法
小項目	6.3.1 教育方法および学習指導は適切か。
要素	教育目標の達成に向けた授業形態（講義・演習・実験等）の採用 履修科目登録の上限設定、学習指導の充実 学生の主体的参加を促す授業方法 研究指導計画に基づく研究指導・学位論文作成指導（院） 実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導（専院）
小項目	6.3.2 シラバスに基づいて授業が展開されているか。
要素	シラバスの作成と内容の充実 授業内容・方法とシラバスとの整合性
小項目	6.3.3 成績評価と単位認定は適切に行われているか。
要素	厳格な成績評価（評価方法・評価基準の明示） 単位制度の趣旨に基づく単位認定の適切性 既修得単位認定の適切性
小項目	6.3.4 教育成果について定期的な検証を行い、その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結びつけているか。
要素	授業の内容および方法の改善を図るための組織的研修・研究の実施

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。

A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 履修指導を組織的に実施するための「履修指導マニュアル」を学科毎に作成する。	→履修指導マニュアルの作成、およびその改訂状況。	C	B	B		
2. 成績不振学生の履修指導方法を体系化する。	→履修指導を行った学生（保証人に連絡を行った学生を含む）の比率	C	B	B		
3. 成績評価基準がシラバスに明記されるよう徹底する。	→シラバスへの成績評価方法記載率。	A	A	A		
4. 学部独自のFD研修会を実施する。	→開催状況。	A	A	A		
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	成績不振学生の履修指導を学科ごとで体系的に行うため、学部カリキュラムWGで各学科の「履修指導マニュアル」を作成することを確認して、作業を進めている。すでに5学科で履修指導マニュアルを作成済みである。数理学科と人間システム工学科は年次進行とともに履修指導マニュアルを更新し、それ以外の学科においては実情に合わせて履修指導マニュアルの改訂を行っている。
目標2	各学生を担当する教員を定める「担任制度」により、履修指導を行っている。成績発表日に担任教員が学生に成績表を渡すのであるが、学生はそのときに履修指導を受けることになっている。正確な数字が把握出来ていないが、成績表発表日に成績表を受け取る学生の比率は平均して8割程度である。さらに、GPAを基準に成績不振学生の保護者に連絡を行うことを2008年度より試行している。2008、2009年度は通算GPAを基準にしていたが、2010年度以降は当学期GPAを基準にして成績不振の判断を行った。このように成績不振学生の履修指導は担任からの指導、保護者への連絡という形で行っている。
☆ 目標3	2010年度のシラバス入力システムの改修により、成績評価基準を含め、必須事項の記載のないシラバスは受理されなくなったため、成績評価基準がシラバスに明記されるよう徹底されている。
目標4	理工学部FDに学部でのFDの取り組みについて検討するとともに、学部独自のFD講演会を毎年実施している。テーマは、2008年度に全教員を対象に実施した「FD意識調査」の結果に基づき、教員の関心の高いものを選定している。2011年度は10月に「物理リメディアル教育」をテーマに高千穂大学人間科学部学部長の並木雅俊氏による講演会を開催した。また、2012年度のFD講演会も物理リメディアル教育に関するテーマで開催する予定である。
備考	